

## C 協働学習 (C2)

## 主な学習活動

アンケートから得た情報をグループで整理・分析し、地震の影響の大きさと防災の大切さに気付く。

## 1 本時のねらい

アンケートから得た情報を整理・分析することによって、地震による影響の大きさや地震に備えることの大切さに気付くことができる。

## 2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

ファイル共有

電子黒板

## 3 参考にしてほしいポイント

ロイロノート「共同編集モード」で、自分の家庭の情報だけでなく、友達の家庭の情報も集められるようにする。また、情報をカード化することで、整理・分析しやすくする。そうすることで、子どもたちは、各家庭の防災に向けた取組についての共通点を見いだすことができる。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	<p>(1) 前時まで集めた情報をグループ共通のテキスト上で整理する。</p> <p>(2) 学級全体で交流する。</p>	<p>(ロイロノート)「共同編集モード」で、アンケートの情報をカード化したものを自分のグループ共通のテキスト上に集めておくことで、集めたカードをグループで整理できるようにする。 ※どのように整理するか、視点を決めておくようにする。</p> <p>(電子黒板)グループで情報を整理した結果を発表する際、どのように整理したかを確認しやすくする。各グループの整理の仕方のよさを価値付けたり、分類の仕方の違いを問い返したりしやすくすることができる。</p>

タブレット

+

電子黒板



カードを整理



視点の確認



全体でいつでも確認

## 4 活用効果

家庭で行っていた備え、行う必要があった備えが多岐にわたることや家庭での防災に向けた取組に共通点があることを整理・分析を通して実感することができた。また、ファイル共有により、他のグループの整理・分析の様子を移動しなくてもリアルタイムで確認することもでき、自分たちのグループで情報を整理・分析する際のヒントにする姿が見られた。

## 5 アドバイザーからのコメント

子どもたちが、防災について自分の家庭や他の家庭を調べた結果をカードでまとめ、そのカードをグループごとに分類することによって、全体の構造を作っています。私たちの体も多くの部位が構造化されているので生きています。それと同じように、情報が生かされるのです。(東京工業大学 赤堀侃司)

児童が家庭での準備状況について多くのデータとして集めており、クラスで整理し分析する際にそのことばを用いてまとめると、自分事として学びが進みそうです。整理の仕方について、児童が思考ツールなどを選択する場面を設けると、コンピテンシーベースの学びが進みそうです。(福島大学 平中宏典)